

目標達成計画

作成日：平成27年 11月 30日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	28	ニーズをつかんでいくことは簡単ではなく、聴いた利用者のニーズを具現化するために具体的にどのような方法が良いのか考えていくための職員との提案・相談が上手く出来ていない。	利用者の思い、家族の思いを聴いてニーズを掴み、明確になったニーズに対し俊敏に対応できる体制ができるような計画を作成すること。多角的総合的な視点でニーズに取り組めるようにする。	話しやすい雰囲気や人間関係が築けるように何時でも何度でも言える環境を作ること。相手側からでなくこちらからのアプローチをしっかりとる。	12ヶ月
2	19	遠方の方だったり、忙しいご家族は頻繁に面会に来所することが難しく、入居者本人や職員との交流の機会が減少し、お互いの状況や思いの把握が難しい。	色々な方法でご家族との関わりを持つことで入居者の方には家族との繋がりを感じて貰えるようにし、職員はご家族の意見や思いを知り、それを取り入れたサービス提供ができるようにする。	Xmasカードや年賀状、季節ごとの絵手紙等、入居者ご本人に書いて頂く。困難な方は職員がお手伝いしたり、職員から見たご本人の近況報告等添えてこまめにご家族に送る。	6ヶ月
3	48	入居されている方によりホームの雰囲気が変化している。現在は無口な方が多いため静かなホームですね。と見学者から言われることがある。にぎやかで、明るいホームにしたい。	レクリエーション等全員で行うことは難しいが、テラスでの食事や簡単なお手伝い等、できることで笑顔になり、笑い声も響くような雰囲気を目指したい。	テラスでの食事やティータイム、散歩、簡単な遊びを増やし、失敗しても笑っていられると楽しいと感じて貰えるのではないかと。たまには食事もバイキングのようにして、好きなお皿に取り分けて食べて頂く。	12ヶ月
4	49	散歩中もテラスに出ている間も下向きで居られることが多い。色々な所を見ながら色々な話がしたい。	聴いた話を基に、できることや好きなことをして過ごして頂きたい。	意思の疎通が難しい方もおられるが、タイミングをみて誘いたい。	3ヶ月
5	24	レクリエーションの現状は個々に合わせて出来ることをして貰っている、入居者の中には「したくない」「出来ない」と何もされない方が居られる。何か意欲を引き出せれば、と思う。	個々にあったレクの種類を増やす。昔やっていたこと、それに似ていることを提供してみる。グループでもできるようなレクを検討する。	個人の経歴や趣味、特技を聞き出す。その人に合ったレクを考え、まずは職員と一緒にやる。段々とできるようならば、ご本人にしたいいただく。	3ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。